

大和地区福祉委員会 第4次地区福祉計画



地区の特徴

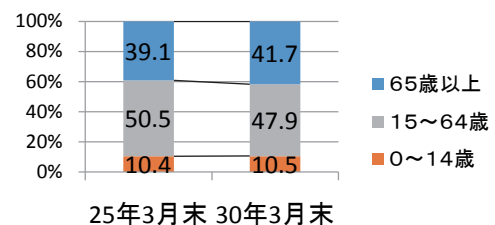
川西市の北東部に位置し、昭和40年代前半から戸建て住宅を中心に開発された、閑静な住宅地です。

能勢電鉄畦野駅、山下駅、笹部駅があるほか、地域の西側には国道173号線、新名神高速道路の川西インターチェンジがあり、地域内には阪急バスが循環するなど交通条件に恵まれています。また、豊かな緑や自然にも恵まれ、落ち着いた生活環境です。地域活動が活発で、盆踊り、体育祭、三世代交流福祉まつり、文化祭、夢ナリエ、とんど大会など四季折々イベントでにぎわっています。また、各丁ごとの活動も公園を利用したイベントや会館を利用した食事会などを実施しています。

開発から約50年が経過した現在、65歳以上の人口が41.7%、75歳以上が25%（何れも平成30年3月末現在）と超高齢化が進む一方、乳幼児を持つ30代の世帯の転入が増加しています。

大和地区の人口、世帯数、高齢化率推移

	平成25年3月31日現在	平成30年3月31日現在
● 人口	11,203 人	11,024 人
● 世帯数	4,732 世帯	4,879 世帯
● 高齢化率	39.1 %	41.7 %



福祉目標

向こう三軒両隣 つながりあう福祉のまち 大和

地区の重点事業

重点
1

福祉活動を担う人材の確保と育成

重点
2

誰もが参加できる居場所づくり

重点
3

安心して住み続けられる高齢者や障がい者などの支援の充実

重点
4

笑顔があふれる子育て支援の充実

重点
5

地域活動の情報の共有・発信

第3次地区福祉計画からの課題
(25年度～29年度)



- ◇増加するひとり暮らしの高齢者の把握と見守り
- ◇超高齢化に対応する移動手段の拡充
- ◇若い世代の転入が多いことから子育て支援の充実
- ◇地域活動・ボランティア活動の担い手確保と育成
- ◇行方不明者SOSネットワークの適切な運用と訓練
- ◇成年後見制度の理解と利用促進
- ◇社会福祉協議会と地区福祉委員活動の住民へのPR
- ◇福祉委員の資質向上のための研修
- ◇すべての世代が交流することができる居場所づくり

地区別ワークショップでの意見



- ◇次世代の地域活動の担い手、人材育成のプログラム
- ◇学校・PTA・地域の連携体制の強化
- ◇地域活動の情報共有
- ◇世代間の交流の場づくり
- ◇子どもの活躍の場の確保
- ◇地域の情報収集・発信体制の強化
- ◇地域の相談窓口の充実
- ◇高齢者の生活支援の充実
- ◇地域のつながりづくりの推進
- ◇地域活動への民間事業所の参画支援

現在の地区の取り組み

- 三世代交流福祉まつりの実施
- 一人暮らし高齢者との交流会
- 寝たきり世帯家族への激励訪問
- 手話教室開催
- 福祉相談の実施
- 「きらり&オープンカフェ」の支援
- 地域ふれあい拠点（大和サロン）の運営
- 「ふくしだより」の発行
- 福祉講座の開催
- 車いす貸出し
- 子育て支援（「ハッピーママサロン」の開催等）

三世代交流福祉まつり



手作りの横断幕



幼稚園の先生と遊ぶ



古田敦也展



夢ナリエに電飾展示

車椅子体験教室



とんど大会で甘酒提供



かいごカフェ

つながりMAP



大和自治会HPより

- ① 第1自治会館（大和自治会、大和友愛クラブ、大和こども会、大和地区防災会、川西防犯協会大和支部、だいわチケット、牧の台子育て「にこにこ広場」）
- ② 第2自治会館（大和地区福祉委員会、自治会図書室、ハイ・はい「きらり&オープンカフェ」、のじぎく牧の台、ハッピーママサロン、高齢者のつどい、かいごカフェ）
- ③ 第3自治会館（地域活動、サークル活動）
- ④ 牧の台会館（牧の台小学校区コミュニティ推進協議会、まちの保健室、牧の台子育て「にこにこ広場」）
- ⑤ 東谷中学校（PTA）
- ⑥ 牧の台みどりこども園（アップルまきのだい）
- ⑦ 牧の台小学校（PTA、留守家庭児童育成クラブ、スポーツ21）
- ⑧ つくしんぼ保育所（まちの子育てひろば、ホットステーション）
- ⑨ 夢ポケット（障害児放課後ディサービス）
- ⑩ 大和サロン（地域活動、サークル活動）
- ⑪ 野波邸（地域活動、サークル活動）
- ⑫ コープこうべ・うねの店（コープ子育てひろば「いちじく」）
- ⑬ 25カフェ（グッドクラブ：地域活動、サークル活動）



大和地区の自治会は
以下のとおりです。

大和自治会



目 的

地域における福祉活動を維持し、充実していくためには、福祉委員、民生委員・児童委員、ボランティア等の身近な人の連携が必要です。これらの人の高齢化が進んでおり、次世代の人材を確保するとともに育成に取り組めます。

具体的取り組み

◆福祉委員会活動を広く住民にPRします。

- ①活動状況を掲載した「大和ふくしだより」を定期的に発行し、全戸配布します。
- ②地域のイベントに参加する時には、「大和地区福祉委員会（川西市社会福祉協議会）」の看板やのぼりを掲出します。

◆若い世代や団塊の世代の地域活動参加を促進します。

- ①学生や若い世代、定年後の世代の地域活動への参加を促進するため、ボランティア登録制度の創設を検討します。
- ②事業実施の際、ボランティアの募集や関心のある人の勧誘などボランティア活動のきっかけづくりの場を作ります。
- ③幅広い年齢層が、少しの時間をボランティア活動に参加できる場を作ります。

◆福祉委員が活動しやすい環境を整えます。

- ①福祉委員の研修を充実します。
- ②福祉委員の日頃の活動における課題等を共有します。

目 的

大和地区は、自治会館・牧の台会館・大和サロン・野波邸などで高齢者や未就学の子どもや親の交流の場を設け、定期的に食事会や情報交換などを行っています。ひとり暮らしの高齢者や若い世代の転入者が増加している中で、世代を越えた交流ができる居場所づくりが求められていることから、新たな居場所づくりと事業内容の見直しを進めていきます。

具体的取り組み

◆誰もが参加できる居場所づくりを進めます。

- ①関係機関・関係団体と連携して、小地域での空き家等を利用した交流の場を充実します。
- ②現在の高齢者や子育て支援を見直し、一人暮らしの高齢者や子育て世代などあらゆる層が集える事業を実施するとともに、運営に携わるボランティアの確保に努めます。
- ③要支援者（障がい者、孤立している人等）に対する支援を検討します。
- ④ボランティアグループ「ハイ・はい」の活動を支援します。
- ⑤福祉活動の拠点として活用するため、第2自治会館の使用管理の受託を検討します。

目 的

地区の人口11,024人のうち65歳以上4,594人（41.7%）、75歳以上が2,760人（25%）、65歳以上の高齢者の一人暮らし578人（65歳以上の人の12.8%）になっています。（何れも平成29年3月現在）
住み慣れた地域で、安心して、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう取り組みます。

具体的取り組み

◆支える側と受ける側に分かれるのではなく、それぞれ住民が役割を持ち、支えあいながら、自分らしく活躍できる環境を整えます。

- ①健康寿命を伸ばす活動を自ら行うことを促進するとともに、講座などを開催します。
- ②高齢者が高齢者を支える仕組みを検討します。
- ③地域包括ケアシステムが構築できるように、関係機関・関係団体との連携を拡大します。特に、在宅医療体制の構築を強く働きかけます。
- ④「だいわチケット」と連携して、家事援助等高齢者の生活支援の充実を図ります。

◆支援が必要な高齢者や障がい者に対して見守りや声かけの体制を充実します。

- ①福祉委員や民生委員等が情報を共有しながら、ひとり暮らしの高齢者や障がい者の見守りを充実します。
- ②認知症の見守り協力者を拡大するため、認知症の理解を深めるための講座を開催するとともに、キャラバンメイト活動を支援します。
- ③行方不明者SOSネットワークシステムの確実な運用と訓練を行うとともに、関係機関と連携して休日体制の対応を検討します。
- ④災害時における要支援者の安否確認や避難行動に協力します。
- ⑤判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者が安心して地域で生活でき、権利が守られ、必要な援助が受けられる成年後見制度の周知を図ります。

◆移動手段の確保と利用しやすい環境の整備に取り組みます。

- ①坂が多く、駅や買い物施設等からの移動が困難になっています。また、高齢者の運転免許証返納の増加が見込まれることから、地域内のバスの確保と利便性を向上するため、バス利用を促進します。
- ②歩道の安全確保と段差解消などのバリアフリー化を働きかけます。

目 的

子育て支援については、地域内でハッピーママサロンなど多様な事業を実施しています。若い世代の転入者が増加する中で、子どもたちが心豊かに、のびのびと生活することができる環境づくりに取り組みます。

具体的取り組み

◆参加しやすい子育て支援活動を推進します。

- ①牧の台みどりこども園と協議しながら、就学前、就園前の子育てを支援します。
- ②地域内で実施している子育て支援事業をネットワーク化し、分かりやすく情報を提供します。
- ③高齢者と若い世代との交流の機会を作るため、三世代交流福祉まつりを継続して実施します。

◆子どもの安全と安心を守ります。

- ①登下校時には、お互いが挨拶を交わす「あいさつ運動」を推進します。
- ②地域の公園が利用しやすい環境整備を働きかけます。



大和地区福祉委員会事業一覧表

1 福祉活動を担う人材の確保と育成

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
「大和ふくしだより」発行	重点	福祉委員会活動を掲載 年3回発行
地域のイベントへの参加		随時
ボランティア登録	新規	ボランティア登録制度の検討
福祉委員研修	重点	年4回実施

2 誰もが参加できる居場所づくり

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
大和サロンの運営		小地域活動の拠点として活用
新しい居場所づくりと運営	新規	平成30年度「社協ひだまり基金・共同募金事業」助成金を活用した居場所づくりと運営
第2自治会館使用管理受託	新規	福祉活動の拠点として活用するため、自治会と協議
ボランティアグループ「ハイ・はい」の活動支援		活動費等の支援

3 安心して住み続けられる高齢者や障がい者などの支援の充実

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
健康寿命を伸ばす講座の開催	新規	年1回
地域包括ケアシステム構築の働きかけ	新規	随時、協議の場をもつ
「だいわチケット」との連携	新規	随時
一人暮らしの高齢者や障がい者の見守りの充実		随時
寝たきり高齢者世帯家族への激励訪問		年1回
ひとり暮らしの高齢者との交流会(ときわ会)		年1回
認知症の理解を深めるための講座開催		年1回
キャラバンメイト活動の支援		随時
行方不明者SOSネットワーク	重点	訓練の実施
災害時要支援者の安否確認、避難行動協力	重点	大和地区防災会と連携
成年後見制度PR	重点	随時、講演会・相談会を実施
移動手段の確保(バス利用の促進)	新規・重点	随時
車いすの貸出し		随時
手話教室の開催		月1回

4 笑顔があふれる子育て支援の充実

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
牧の台みどりこども園との連携	新規・重点	子育て支援の充実
子育て支援事業の情報提供	新規・重点	随時
ハッピーママサロンの運営支援		月2回
三世代交流福祉まつりの実施	重点	継続して実施
あいさつ運動	重点	随時
利用しやすい公園の環境整備の働きかけ	新規・重点	随時

5 地域活動の情報の共有・発信

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
福祉ネットワーク会議の開催	重点	年3回
地域内の事業所に情報提供及び参加促進	新規	随時
地域活動団体等との連携強化		随時
「車いす体験」や「認知症の理解教育」の実施		随時
相談窓口の充実	重点	月1回
住民を対象にした福祉講座の実施		随時
北部3地区福祉委員会、5地区福祉委員会との連携		各年3回

目 的

地域では、福祉委員会をはじめ様々な団体が活動しています。これらの活動の情報を共有できるよう活動団体の連携に取り組みます。

具体的取り組み

◆福祉ネットワーク会議等を開催し、情報交換や地域の課題を明らかにして、その解決に努めます。

①行政や社会福祉協議会とともに地域とつながりのある団体等と意見交換をしながら、より良い地域づくりに努めます。

②福祉活動について、地域内の事業所に情報提供を行うとともに、事業への参画を促進します。

③学校・PTA・自治会・コミュニティ推進協議会等の連携体制を強化します。

④学校の児童・生徒に対する、「車いす体験」や「認知症の理解教育」等を支援します。

◆地域の相談窓口を充実します。

①現在月1回の福祉相談日を設定していますが、相談者が少ない状況です。相談日だけではなく、カフェ等居場所に参加したときに気軽に相談できる環境を作るとともに、相談内容によって、適切な機関を紹介する体制を整えます。

◆福祉委員や住民を対象にした「福祉講座」を開催します。

①行政や社会福祉協議会・福祉委員会が実施する福祉に関するイベントや講座を紹介し、福祉意識の向上に努めます。

大和地区 ワークショップ及び策定委員会開催状況

平成29年	9月13日	ワークショップ ネットワーク会議のメンバーに加えて、大和地域内の地域活動団体や福祉活動団体、事業所の代表により、4班に分け、「高齢者」及び「子育て、障がい者(児)」のテーマで「現状」、「課題」、「あるべき姿」等を議論した。
	11月24日	第1回大和地区福祉計画策定委員会 川西市社会福祉協議会より「地区福祉計画の位置づけ」や「第4次地区福祉計画策定マニュアル」の説明を受けた。 第3次大和地区福祉計画(以下、「現計画」という。)、ワークショップの検討内容、人口、年齢構成等を説明後策定スケジュールを決定した。
	12月4日	第2回大和地区福祉計画策定委員会 現計画の事業項目ごとに、目標の達成状況を評価するとともに、第4次大和地区福祉計画への課題を整理した。
	12月20日	第3回大和地区福祉計画策定委員会 前回協議した現計画の点検・評価結果について、見直した。第4次大和地区福祉計画の構成は、「福祉目標」、「重点事業」、「重点事業の目的と具体的な取り組み」の三段階とし、次回に検討することとした。
平成30年	1月17日	第4回大和地区福祉計画策定委員会 川西市地域福祉計画(案)について川西市福祉政策課、地域福祉推進計画(案)について川西市社会福祉協議会よりそれぞれの概要について説明を受けた。 その後、「福祉目標」、「重点事業」、「具体的取り組み」について、2班に分けワークショップ形式で意見をだしあった。
	1月31日	第5回大和地区福祉計画策定委員会 ワークショップ及び前回までの策定委員会が出された意見等を集約した「第4次大和地区福祉計画(案)」を検討した。
	2月14日	第6回大和地区福祉計画策定委員会 前回検討した事項を反映して、修正した「第4次大和地区福祉計画(案)」を決定した。
	2月28日	大和地区福祉委員会で決定

第4次大和地区福祉計画策定委員会委員名簿

敬称略

	氏 名	所 属
委員長	岩井 健	大和地区福祉委員会
副委員長	尾崎 寛心	大和自治会
書記	梅原 武	大和地区福祉委員会
委員	佐々木 祥守	牧の台小学校区コミュニティ推進協議会
委員	八田 勇	だいわチケット
委員	裕野 れい	牧の台幼稚園学校評議員
委員	橋本 翠	ボランティアグループ ハイ・はい
委員	野中 健一	大和地区福祉委員会
委員	中村 多喜美	大和地区福祉委員会
委員	山本 沙貴子	大和地区福祉委員会
委員	後藤 哲雄	大和地区福祉委員会
委員	西山 紀子	大和地区福祉委員会
委員	進藤 恵子	大和地区福祉委員会
委員	三木 一子	大和地区福祉委員会
委員	今西 美知子	大和地区福祉委員会
委員	今西 テル子	大和地区福祉委員会
オブザーバー	西本 裕子	川西市社会福祉協議会